

ちくせい

筑西広域市町村圏広報紙

2007
NO. 27

編集・発行
筑西広域市町村圏事務組合
<http://www.tikusei.or.jp/>

データ筑西広域

結城市・筑西市・桜川市

- 総人口 210,647人
- 総世帯 65,839世帯

(平成19年10月1日現在)

写真: 桜川市真壁町から見た筑波山 撮影者: 告 耕 二 (桜川市)

特集 ちくせい文化探訪

ちくせいを歩く 筑西市編・・・P2-P3

忘れつつある素敵な文化を探しにいきませんか?

「ちくせいを歩く」と題した特集、ちくせい文化探訪の第2回。今回は筑西市編で、下館地区にある「しもだて美術館」協和地区の「筑西市立農業資料館」、そして関城地区の「生涯学習センター(ベアーノ)」を訪ねます。

筑西広域圏の情報

広域すくらんぶる……………P4

平成18年度決算

一般会計・特別会計……………P5

すくすくスクール

桜川市立羽黒小学校……………P6

構成市の話あれこれ

ニュースすくらんぶる……………P7

事務局からのお知らせ

インフォメーション……………P8



▲来場者を静かに迎えるエントランスの彫刻(しもだて美術館) ……関連記事 P2

ちくせいを歩く

私たちが暮らすちくせいには 伝統的な文化がたくさんあります。忘れつつある素敵な文化を探しにいきませんか？



▲郷土ゆかりの作家による作品が展示される常設展示室

しもだて美術館

もだて美術館は、しもだて地域交流センター・アルテリオの3階にあり、筑西市のほぼ中心部に位置します。同館は郷土ゆかりの作家による作品が展示されており、筑西市オリジナルの文化継承と再発見、さらには新たな地域文化の創造に貢献することを目的として、平成15年11月に開館しました。

館内は開放的な空間になっており、明るい光が差し込むプロムナードからは、茨城県のシンボルである筑波山を望むことができます。長いプロムナードを通過し終わる頃には、別世界に来たような感覚を味わうことができます。3つの広い展示室以外にも、映像展示室があり、来館者をわくわくさせる工夫がなされています。

常設展示作品には、郷土の文化勲章受章者である、洋画家の森田茂、陶芸家の板谷波山、皮革工芸家の大久保婦久らの貴重な作品があります。郷土ゆかりの作家による作品が展示されているため、親しみを持って鑑賞することができます。また年に

4回行われている企画展は、地域の皆様を楽しめる内容のものを、そして地域の皆様にぜひ見て頂きたいものを、同館の学芸員が検討を重ね開催されます。

館は、イベントの企画・運営にも力を入れています。特に子ども向けのイベントはとても充実しています。「子どもたちに、生の美術品に触れる機会をつくってあげたい。そのために、美術館に来てもらえる楽しいイベントをたくさん準備しています。」とこやかに語ってくれたのは、高崎副館長。今年の夏休みに行われたユニークなイベント「夏の夜の美術館！懐中電灯で海中探検」には2時間の間に約100人の来館者が訪れました。夜の美術館に懐中電灯を持って集まり、企画展作品の水中写真を照らしながら館内を見てまわりました。子ども達は「海の中にいるみたい。」と神秘的な光景を楽しんでいました。

週末にご家族で美術館に足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲定期的に企画展を開催する展示室

て触れさせてあげるのも、良い経験になるのではないのでしょうか。」とも語ってくれました。

くの展示資料の中で、収集が困難だったもののひとつに、洗濯板があります。昔はどの家庭にもあり毎日使われていましたが、今ではすっかり姿を消してしまい、昔の日本文化を物語る貴重な資料となっています。

日々生活が便利になっていく時代ですが、「温故知新」の精神で、古きをたずねて新しきを知る機会をつくってみるのも大切かもしれません。



▲稲作や畑作に使われた農機具



▲現在では貴重な洗濯板



▲当時の面影をそのままに残す外観

農業資料館

西市立農業資料館は、2000年 前の姿を今に残し、ひっそりとたたずんでいます。同館の建物は江戸時代中期頃に造られた農家で、昭和60年に現在地に移築されました。建物の中に入ると、農作業場であった広い土間や、昔の生活文化を物語るのりりを見るすることができます。館内には、稲作や畑作に使われた農機具、生活用具を中心として約380点の資料が展示・保管されています。これらの資料の多くは、旧協和町内の有志により寄贈されたものです。昔はよく使われていた道具ばかりですが、今では数少ない貴重な資料となっています。

建物や展示資料は、お年寄りの方々に



▲昔の生活文化を感じられる座敷内部



▲昭和30年代中頃まで使われた米俵と荷車

は懐かしく、子ども達にとっては新鮮に映ります。毎年地元の小学生在が『昔の生活と今の生活』という学習テーマのもと、この資料館の見学に訪れます。「子ども達は、初めて見る道具に興味津々で、熱心に話を聞いてくれるんですよ。」と教育委員会文化課の大谷係長は語ります。「歴史資料を教科書で学ぶことは大切ですが、それだけではなく、自分の目で見てそし



筑西市立農業資料館
住所 筑西市久地楽 581
連絡先 筑西市教育委員会文化課文化財係
電話 0296-22-0183 入館料無料
見学・ご利用に際しては、事前に文化課までお申し込み下さい。



筑西市立生涯学習センター(パール)
住所 筑西市舟生 1073-21
電話 0296-37-7803

多目的施設には、明るい雰囲気のある会議室や和室本格的な茶室も設けられています。また鏡張りの部屋もあり、ダンスのレッスンやヨガなどの教室としても使用することができます。施設使用に関するお問い合わせは左記までお願いいたします。

市民ホールは、500席を有し、公演・コンサート・演劇・発表会と、さまざまな用途で使用することができます。車椅子用の席はもちろん、赤ちゃん連れのお母さんのための親子席が設けられているのも特徴です。この親子席はホール内に設置されている個室で、個室から外には音が漏れないようにつくられています。

多目的施設には、明るい雰囲気のある会議室や和室本格的な茶室も設けられています。また鏡張りの部屋もあり、ダンスのレッスンやヨガなどの教室としても使用することができます。施設使用に関するお問い合わせは左記までお願いいたします。

筑西市立生涯学習センター(パール)



筑西市の南端、梨園が多く存在する旧関城町に生涯学習センター(パール)は位置します。同センターの施設は一般の方々が自由に使用することができます。毎年吹奏楽コンクールで活躍する、関城吹奏楽団は同センターを拠点とし、各コンクールに向け日々練習に励んでいます。

企画展のお知らせ
ジャポニスムへの旅
平松礼二展
10月6日(土)～11月25日(日)

現代日本画壇を代表する画家平松礼二氏は1941年(昭和16年)東京都に生まれました。1962年(昭和37年)第30回青龍社展で奨励賞を受賞します。青龍社解散後は個展やグループ展で作品を発表、数々の賞を受賞。1989年(平成元年)には日本画壇の最高賞である第10回山種美術賞展の大賞を受賞します。1999年(平成11年)「印象派・ジャポニスムへの旅」平松礼二展は全国の会場で大好評を得ます。モネの「睡蓮」に触発され、ジャポニスムに目覚め、琳派風の大胆な構成による独自の美意識が作り上げた華麗な作品は月刊誌「文藝春秋」表紙画などでも広く知られるところでした。

▲平松礼二「すずき園・ジャポニ」2003年
風を始め「文藝春秋」の表紙原画を含む62点の作品により現代の琳派とも称される平松礼二の絵画世界を広くご紹介いたします。



しもだて美術館
住所 筑西市丙372 電話 0296-23-1601
開館時間 10:00～18:00
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)12月28日～1月4日※この他臨時に休館日を設定することがあります。

NEWS 構成市の話あれこれ **すくらんぶる**

結城市

<http://www.city.yuki.lg.jp>

結城市民劇「結城合戦物語」



12月2日(日)
市民文化センターアクロス
(全席指定1,000円)

結城合戦は、室町時代に結城を舞台とした悲劇の合戦。永享の乱を起こした鎌倉公方足利持氏の遺児をめぐる、結城家と幕府軍が約1年にわたり激しい戦いを繰り広げました。「結城の歴史を知ってもらいたい」と集まった市民などが手づくりでお届けする「結城合戦物語」。初公演を、ぜひお見逃し無く。

お問い合わせ / ☎0296-32-5330 「結城市民劇をつくる会」実行委員会事務局

第8回 結城シルクカップロードレース大会

平成20年2月24日(日) ※申込締切:平成20年1月15日

毎年、市内外から1700人を超えるランナーがエントリー。2km～10kmの各種目に別れタイムを競います。親子でのエントリーも可。所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加費を最寄りの郵便局にお振込みください。申込用紙はかなくほ総合体育館が社会体育課に用意してあります。健脚自慢の皆さん!結城のコースにチャレンジしてみませんか。



お問い合わせ / ☎0296-32-6340 結城市社会体育課

筑西市

<http://www.city.chikusei.lg.jp>

小栗判官まつり

12月2日(日)



12月2日、今年で第18回となる小栗判官まつりを開催します。まつりのメインは小栗判官伝説を再現した華麗な武者行列。馬にまたがった小栗判官が、照手姫や十勇士、子ども武者などの一行を引き連れ、JR新治駅前を練り歩きます。また、新治小学校グラウンドでは、商工祭、歌や踊りなどのステージ、模擬店などが催され、大勢の観客でにぎわいます。

お問い合わせ / ☎0296-20-1160 筑西市観光協会

だるま市

平成20年1月14日(祝)

歩行者天国となった大町通りで、正月の恒例行事「だるま市」が開催されます。



会場には埼玉県や群馬県からのだるま業者が店を連ね、家内安全、商売繁盛など一年間の開運を願い、縁起物の「だるま」や「お飾り」を買い求める客でにぎわいます。

お問い合わせ / ☎0296-20-1160 筑西市観光協会

桜川市

<http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

やれ食べる!ほら食べる! 「大飯まつり」12月9日(日)

12月9日、岩瀬地区西部の下泉・本郷でお椀に高く盛りだご飯を食べ合う「大飯まつり」行われます。その年の作物の実りを神に感謝するとともに人々の健康を願うための祭事です。「しょうばん」の合図で、30センチ近く高く盛り上がった「物相」と呼ばれる8合のご飯を、酢の物やけんちん汁などをおかずにご飯に食べ合います。また、一段落すると笑わせることで福を呼ぶという「今浜様」が登場し参加者を笑わせます。ぜひ見に来てみませんか。



お問い合わせ / ☎0296-58-5111(代) 桜川市商工観光課

無病息災を願い炎の中を駆ける 「火渉り祭」12月22日(土)

冬至の12月22日、真壁町長岡地区の加波山三枝神社本宮で年末の風物詩「火渉り祭」が行われます。約600年前の室町時代から続く伝統行事で、燃え盛る炎の中を素足で駆け抜け、新年の厄除けや無病息災を祈る荒行です。神社の境内に積み重ねられた薪に火が付けれられ下火になるのを待ち、白装束の修験者が先頭に次々と信者や参拝者が火の道を駆け抜け抜けます。ぜひ見に来てみませんか。



お問い合わせ / ☎0296-58-5111(代) 桜川市商工観光課

校 景観まちづくり学習でふるさとを再認識

思いやりと行動力のある『羽黒っ子』 桜川市立 羽黒小学校



▲プルタブ収集で福祉施設に車椅子を寄付。

そんな児童たちが自ら発案し、実行している福祉活動があります。それは「空き缶のプルタブ回収」です。空き缶のプルタブを集め、それを換金したお金で、お爺ちゃんお婆ちゃんに車椅子をプレゼントしています。今までに3台の車椅子を福祉施設に寄付しました。車椅子一台を買うためには、50万个ものプルタブが必要になるため、大変な作業です。

そんな児童たちが自ら発案し、実行している福祉活動があります。それは「空き缶のプルタブ回収」です。空き缶のプルタブを集め、それを換金したお金で、お爺ちゃんお婆ちゃんに車椅子をプレゼントしています。今までに3台の車椅子を福祉施設に寄付しました。車椅子一台を買うためには、50万个ものプルタブが必要になるため、大変な作業です。



▲総合学習で作成した地域カルタ

なテーマのもと3年生から6年生が、自分たちの住んでいる地域について自ら調べ、地域の良さを改めて確認し、地域に誇りを持つ学習をしています。そんな学習方法が認められ、今年度国土交通省から「景観まちづくり学習推進のための実践モデル校」に選ばれました。モデル校は全国で18校で、景観を切り口にふるさとを知る学習を実践します。同校の4年生は「こんなまちが好き!」をテーマに学校周辺にある様々な塀を写真に撮り、自分の好きな塀について発表会をしました。地域にはブロック塀の他に、昔ながらの石塀や板塀、生垣とたくさん塀があります。児童たちは「地域にこんな塀があったなんて。」「私はこの塀が好き。」「と熱心に取り組んでいました。思いやりと行動力のある『羽黒っ子』は、ふるさとの方々によさしく見守られ、すくすくと育っています。

同 校で力を入れているもの

総合的な学習の時間があります。毎年「羽黒っ子のまち自慢」という大きな



▲珍しいゾウの石像



▲玄関に展示されている伊藤公象氏作品

ガッコウのデータ

所在地	〒309-1453 桜川市友部201	学校長	伊東 榮一
学級数	12学級	児童数	287人



結城市災害救援ボランティア連絡会 会長 鈴木 勇さん

鈴木さんは、災害が起きてから考えるのでは遅いのだと、結城市社会福祉協議会に協力を依頼し、共に市民に訴えてきました。同連絡会発足時から数々の公演の場で、災害に見舞われたとき、まず最初に何をすべきか、何処に避難したらいいのか、遠方から救援に来てくださるボランティアに対する対応はどうしたらいいのかなど、住民が具体的に考える場となるような公演会を実施してきました。そして、まだ記憶にも新しい新潟県中越沖地震にもボランティアとして参加しました。「ボランティアは自分のために、そして家族のために有り、その技術と思いやりが人を助ける。」と鈴木さん。ボランティアに対する篤い想いが伝わってきます。



結城市災害救援ボランティア連絡会

結城市災害救援ボランティア連絡会は、阪神淡路大震災を教訓に「自分達の命は自分で守ろう」と平成8年に発足した市民ボランティア団体です。会長の鈴木勇さんは、「阪神淡路大震災の悲惨なテレビ映像を見て、居ても立っても居られなくなったんです。何か手助けをしながら、現地にボランティアとして行ったことが、この団体をつくるきっかけとなりました。」と語ってくれました。

Enjoy Club
エンジョイ!
クラブ

平成20年度
学生募集

茨城県結城看護専門学校

歴史と絢のまち結城で学んでみませんか。

本校は、おもいやりのある人間性豊かな看護師の養成を目指しています。

- 募集定員 (推薦および社会人入試による入学者を含む)
50名
- 修業年限
3年
- 受験資格
高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成20年3月卒業見込みの者等
- 受験申込
所定の申込用紙(入学願書等)がありますので、本校窓口又は郵送にて取り扱っています。

- 出願書類受付期間
平成19年12月3日(月)から平成19年12月14日(金)まで
- 入学試験日
平成20年1月16日(水)
一次試験 国語・数学・英語
平成20年1月18日(金)
二次試験 面接

申し込み先

茨城県結城看護専門学校 〒307-0001 結城市大字結城 1211-7
TEL 0296-33-1922 FAX 0296-33-1920
ホームページアドレス <http://www.yukinu.or.jp>



筑西遊湯館からのお知らせ

- 1 平成19年12月25日(火)「クリスマス・イベント」入場料半額
午前10時～午後10時30分まで ※入館者全員が対象です
- 2 平成19年12月27日(木)●通常営業(午前10時～午後10時30分)
- 3 平成19年12月31日(月)●特別営業時間(午前10時～午後6時)
- 4 平成20年1月1日(火) 元旦特別休館日
- 5 平成20年1月2日(水)以降●通常営業(午前10時～午後10時30分)

お問い合わせ

筑西市下川島 471-2 TEL 0296-33-5151

福祉センター

あまびき

忘年会・新年会のご予約承ります。

新鮮なオゾン空間、くつろぎの宿。
ご宿泊、大小宴会、研修、お祝い事、
法事などお気軽にご利用下さい。



お問い合わせ・お申し込み

桜川市本木 4-2 TEL 0296-58-5211(代)

火災の発見、 『逃げ遅れ』を防ぐ



- 取り付けが義務付けられている所
- 取り付けをお勧めする所

つけましたか？ 住宅用火災警報器！

～今お住まいの住宅にも平成18年6月1日から設置が義務となりました！～

筑西消防管内では、火災予防条例により以下のとおり設置することとなっています。

新築・改築する住宅 平成18年6月1日から設置が義務となっています。

今お住まいの住宅 平成23年5月31日までに設置しなければなりません。

尊い命や財産を守るために早期の設置をお願いします。

悪徳業者にだまされないで！

火災警報器の設置が義務づけられたことにより、
悪質な販売業者による訪問販売などトラブルが予想されます。
不審な場合には、はっきり断り、安易にサインや押印は絶対にしないで下さい。

火災の早期発見に
大変有効な
住宅用火災報知器!!

【お問い合わせ】

筑西広域市町村圏事務組合消防本部
予防課 0296-24-4589

Q&A

で知るちくせい広域

抽選で12名の方に素敵な賞品をプレゼント！

※当選者は次号の「ちくせい」で発表させていただきます。

次の3つの質問にそれぞれ当てはまる言葉をお答え下さい。筑西広域に関する文字が入ります。

問1 鬼怒川のほとりにあるご家族みんなで楽しみながら利用できる健康増進施設。リラククスに最適なお風呂、お食事スペースや充実のトレーニングゾーン・プールなど多種多様な楽しみいただけます。

問2 筑西市にある県西総合公園は、水と緑が豊かな公園です。園内には子どもが遊べる広場はもちろん、サッカー場や野球場、テニスコートなどたくさん施設があります。写真は園内にある人気の施設です。

問3 室町時代の結城を舞台とした悲劇の合戦。永享の乱をおこした鎌倉公方足利待氏の遺児をめぐる、激しい戦いが繰り広げられました。12月2日(日)に『結城市民劇をつくる会』によりお芝居が上演されます。

応募方法／官製はぎの裏に、3問すべてのクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してご応募下さい。
※ご記入いただいた内容は、他の目的で譲渡・利用することは一切ございません。
応募先／〒308-0803 筑西市直井 1076 筑西広域市町村圏事務組合「クイズで知るちくせい広域」係
応募締切／平成19年12月14日(金) 当日消印有効

答え：筑西遊○館

答え：バー○キュー広場

答え：○○合戦物語



前号の答え
問1:③「桑の葉」
問2:②「縄文時代」
問3:①「小学校の草取り」

賞品:「館うどん」
応募総数:117通 当選者:12名
荒井 幸子さん[結城市] 稲葉 和美さん[筑西市]
関根 はつえさん[結城市] 佐藤 ちい子さん[筑西市]
谷島 恵子さん[結城市] 稲葉 道子さん[筑西市]
入山 克巳さん[筑西市] 鷹崎 勝子さん[筑西市]
杉山 利子さん[筑西市] 吉原 みいさん[桜川市]
淀川 祥子さん[筑西市] 谷中 一守さん[桜川市]

筑西広域市町村圏事務組合
施設のご紹介

お日様の下で遊ぼう!
県西総合公園

消防・救急
広域消防

火葬場・斎場
きぬ聖苑

お風呂とプール
筑西遊湯館

技能知識の向上を図る
筑西地域職業訓練センター

ごみ処理等施設
環境センター

宿泊・宴会・食事
あまびき